

私は、母子像を描き続ける。

第127回 南御堂ヒューマンフォーラム

2026年 戦争展 公開講座

ヒロシマの母子像 ～四國五郎と弟・直登～

浪花の歌う巨人・パギyan(趙博)
ちょうばく 声体文藝館



幼い頃から「絵の神童」と言われた四國五郎は、20歳で招集されて満州で従軍。敗戦後は3年余りのシベリア抑留を経験しました。復員して広島に帰った時、弟の直登が原爆で死んだことを初めて知りました。弟が死の間際まで書き綴った日記を読んだ兄は生涯をかけて、反戦・平和のために膨大な作品を描き残しました。

このたび、"浪花の歌う巨人・パギyan"こと趙博(ちょう・ばく)さんが、四國五郎の思想に向き合い、その継承のために書き上げた一人芝居『ヒロシマの母子像／四國五郎と弟・直登』を上演いたします。ぜひご観劇ください。

日時

3月10日(火)午後5時 開演

会場

南御堂 同朋会館 講堂

趙博さんのプロフィール
および活動については
右記QRコードから



大阪教区教化委員会 戦争展実行委員会